

2014年12月3日

各 位

株式会社パム
オリックス自動車株式会社

「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーン、結果報告 サンゴの保全活動への寄付金が確定 ～ 沖縄県読谷村の海に、108本のサンゴを移植～

株式会社パム（本社：沖縄県那覇市、社長：長嶺 由成、以下「パム」）とオリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：亀井 克信、以下「オリックス自動車」）は、昨年につき、本年も7月1日から9月30日の間、売上の一部をサンゴの保全活動へ寄付する「レンタカーに乗って、サンゴを増やそう」キャンペーンを実施しました。このたび、寄付金額が確定しましたのでご報告します。

今回の寄付金は、キャンペーン期間中に、パムが運営する沖縄旅行の予約サイト「沖縄ツアーランド」を通じて、「オリックスレンタカー」のハイブリッドカーをご利用いただいた料金総額の1%相当額を、両社が共同で拠出するものです。なお、同寄付金は、オリックスグループが取り組んでいる「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』」を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）とともに、サンゴの移植活動に役立てられます。

<寄付金贈呈の様子>



左から、オリックス自動車 レンタカー営業本部営業第三部長 竹松 康之、有限会社海の種 代表取締役 金城 浩二様、パム ウェブマーケティング事業部 レンタカーユニットディレクター 朴 珉鎬

- 寄付金：379,866円
- 寄付先：『SANGO ORIX』を通じて、有限会社海の種（沖縄県読谷村）へ
- 寄付日：12月3日（水）
- 用途：沖縄県読谷村海域への養殖サンゴ108本の移植活動

パムとオリックス自動車は、今後もサンゴの移植活動をはじめ、環境負荷低減に資するさまざまな社会貢献活動をサポートしてまいります。

以上

<昨年の寄付金で移植したサンゴの様子>

昨年は、沖縄県読谷村海域へ、養殖サンゴ 67 本を移植しました。



<沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』について>

オリックスグループでは、サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次の世代へ残すため、国際サンゴ礁年であった 2008 年にいち早く「沖縄サンゴ礁再生プロジェクト『SANGO ORIX』を開始し、これまでに 6,800 本のサンゴを移植しました。現在も沖縄県の読谷村海域などでサンゴの移植活動を行っており、累計で 10,000 本の移植を予定しています。

<株式会社パム 会社概要>

本 社：沖縄県那覇市久茂地 2-3-10 RBC メディアセンタービル 7F

代表者：代表取締役社長 長嶺 由成

事 業：◇国内旅行の総合サイト「たびらい」、エリア特化旅行予約サイト「沖縄ツアーランド」「石垣島ツアーランド」の運営◇沖縄観光情報サイト&情報誌「沖縄ツアーランド 旅カタログ」の運営・発行◇沖縄特化型グルメ情報サイト&情報誌「ちゅらグルメ」の運営・発行など

U R L：<http://www.pam-info.co.jp/>

※このリリースは、沖縄県政記者クラブ、自動車産業記者会に配付しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パム ウェブマーケティング事業部（広報担当）

妻夫木

TEL：098-860-9504

オリックス株式会社 グループ広報部

工藤・堀井

TEL：03-3435-3167